

1 出資法人等の概要

団体名	一般財団法人豊中市医療保健センター		
所在地	豊中市上野坂 2 丁目 6 番 1 号	所管部局・課	健康医療部 保健安全課
設立年月日	昭和 49 年 3 月 27 日	代表者	理事長 野村 晋
資本金等	10,000,000 円	うち市出資額 (率)	5,000,000 円 (50.0%)
設立目的	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会及び豊中市の連携に基づき、豊中市の地域医療体制を確立し、もって地域住民の健康の維持及び福祉の充実を図り、公益の増進に寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		R5			R6			R7		
			市職員	市 OB		市職員	市 OB		市職員	市 OB
役員	常勤	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤	10	3	0	12	3	1	14	5	1
職員	常勤	8	0	0	9	0	0	9	0	0
	非常勤	79	0	1	82	0	0	78	0	0
役員の平均年間報酬 (R6 年度、千円) ※常勤のみ		*			職員の平均年間給与 (R6 年度、千円) ・ 平均年齢 ※常勤のみ			7, 276 千円 ・ 46.3 歳		

3 財務関係

損益計算書		金額 (千円)		
		R4	R5	R6
	総収入	562,485	532,782	496,740
	(うち市受入金)	485,036	330,688	303,692
	総費用	428,289	463,220	491,795
	経常損益	6,536	64,586	▲8,815
	当期損益	134,196	69,562	4,945

貸借対照表		金額 (千円)		
		R4	R5	R6
	資産の部合計	800,580	907,897	922,826
	負債の部合計	404,040	418,051	428,034
	(うち有利子負債)	0	0	0
	純資産	396,540	489,847	494,792
	利益剰余金	393,540	486,847	491,792

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		R4	R5	R6	主な内容、算出根拠等
フ ロ ー	補助金	—	—	—	
	事業費	—	—	—	
	運営費	—	—	—	
	委託料	12,443	5,942	7,063	二重読影会事業他
	指定管理委託料	—	—		
	その他	472,703	324,746	296,629	市負担金（運営費負担金・固定資産取得負担金）
計		485,146	330,688	303,692	
ス ト ック	貸付金残高	250,000	250,000	250,000	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金				
	その他	5,000	5,000	5,000	出捐金 5,000 千円のうち、1,500 千円が基本財産
	計	251,500	251,500	251,500	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	R4	R5	R6
休日等急病診療事業	休日等における豊中市内の初期救急医療機関として、内科・小児科・歯科の診療を行う。	受診者数	2,550 人	6,619 人	6,680 人
障害者歯科診療事業	心身に障害があり、一般の歯科医院での治療が困難な患者を対象に歯科診療を行う。	受診者数	1,610 人	1,533 人	1,419 人
在宅ねたきり者等訪問歯科診療事業	在宅でねたきりの状態にあり、歯科医院への通院が困難な患者を対象に、居宅に訪問して歯科診療を行う。	受診者数	206 人	217 人	214 人
にん福祉・保健施設訪問歯科診療事業	豊中市内の福祉・保健施設に入所しながら歯科診療を必要とする患者を対象に、訪問歯科診療を行う。	受診者数	951 人	971 人	1,001 人
障害者（児）健診等事業	豊中市内の障害福祉サービス事業所の利用者を対象に、事業所単位で健康診査等を実施する。	受診者数等	105 人	215 人	263 人
大阪国際空港メディカルクリニック事業	大阪国際空港内に診療所を開設し、空港内従業員、空港利用者及び地域住民等に診療、健康診断、予防接種等を実施する。	受診者数等	—	9,142 人	9,007 人
		一般診療	—	1,554 人	2,288 人
		予防接種等	—	2,964 人	2,203 人
		健康診断	—	413 人	271 人
		健康診断（委託分）	—	4,211 人	4,245 人

(2) 財務指標

指標	視点	内容	R4	R5	R6
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	131.6%	62.7%	62.9%
人件費比率（％） 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	45.0%	38.4%	37.8%
管理費比率（％） 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	32.0%	19.4%	20.9%
正味財産比率（％） 正味財産合計／（負債＋正味財産合計）×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	49.5%	54.0%	53.6%
固定比率（％） 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表します。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	118.7%	142.0%	135.2%
流動比率（％） 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	1340.7%	542.4%	516.6%

(3) その他

ア 給与体系

区分	☐ 独自体系 ☒ 市の体系を準用 ☐ その他 ()
見直し予定	☐ 予定あり（ 年度予定） ☒ なし ☐ 済み（●年●月）

イ 情報公開

公開ツール	☒ ホームページ（URL： https://tmhc.or.jp ） ☐ 広 報 紙 ☒ 事 務 所 備 え 付 け ☐ そ の 他 ()
公開内容	☒ 定款 ☐ 役員名簿 ☒ 事業計画 ☒ 事業報告 ☐ 経営計画 ☒ 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

●地域医療におけるセーフティネットの役割を担う体制の維持に必要な、安定した財源の維持 ●組織の自律的なマネジメントを維持するための次世代を担う人材の確保 ●実施事業の改廃及び新規事業の開拓など、新たな収益機会の確保

7 経営改革の取り組み（令和6年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
経営改善への取り組み	大阪国際空港メディカルクリニックでは、「大阪国際空港メディカルクリニック経営改革実施プラン」に基づき、『市民に信頼されるかかりつけ医療機関』にかかる取り組みとして、市立豊中病院の派遣医師による生活習慣病にかかる専門外来を設置し、生活習慣病における療養管理指導を行いました。 このほか、肺がん検診や带状疱疹およびHPVワクチン予防接種など、予防的な医療サービスを新たに提供するとともに超音波画像診断装置を更新しました。 さらに、WEB問診システムやキャッシュレス決済システムの導入、診療時間の見直し、ホームページの充実といった利便性向上策に取り組み、患者が安心して、かつスムーズに医療サービスを受けられる環境を整備するなど、多角的に取り組ましました。	大阪国際空港メディカルクリニックの経営改善については、さらなる受診者増が課題であり、引き続き「実施プラン」を進めつつ、外国人旅行客の利用を意識したホームページの改修、SNSを活用した予防接種や各種診療の広報を行います。 さらに、いつでもどこからでも、都合の良い時間に診療予約を入れられるように予約システムを導入し、より気軽に、便利に受診を検討できるようになることで、受診へのハードルを下げ、集患策の強化に取り組めます。 また、産業医活動の一環として、空港内企業の健康診断有所見者に対して、2次検査及び生活習慣病の改善に向けた提案を行うなど、取り組みの充実を図ります。
事業・業務の見直し	福祉・保健施設の入所者を対象とした訪問歯科診療事業の見直しについて、関係機関と協議し、民間の協力歯科医療機関が増えたことで、初期の目的を達成したとして、令和7年3月で診療を終了しました。 休日等急病診療にてWEB問診システムを導入し受診者の利便性の向上を図りました。 このほか、事務局内に組織横断的な「情報・システム管理チーム」を設置し、会計・予算管理システムの更新や業務用アプリケーション導入など、法人の効率的な運営を進めました。 また、非常災害時の救護所への対応として、備蓄品の整備に努めるとともに、本部診療所において開催された「豊中市災害時医療本部・応急救護所関係者合同研修」へ職員が参加し、災害時対応にかかる意識の醸成を図りました。	「情報・システム管理チーム」では、引き続きワークフローシステムの導入を検討し、業務の迅速化及び効率化、人的ミスの軽減を図ります。 福祉・保健施設への訪問歯科診療事業を終了しましたが、引き続き、居宅や市内の病院において、ねたきり等の状態にある通院困難者の訪問歯科診療の周知に取組み、診療や口腔ケアを通じて口腔内の健康の維持増進に努めます。 休日等急病診療事業については、電子カルテ導入に向けて機種選定等を適切に進めます。 また、待ち時間解消策として、キャッシュレス決済をはじめ、発券機の活用、デジタル表示などICTを活用した窓口受付システムの導入に取り組むとともに、増設部分を活用した診療体制を整理し、感染症流行期にも多くの患者の受け入れが円滑にできるよう進めます。 南部診療所については施設老朽化と共に患者数の減少傾向が見られるが、今後の在り方については、市域全体としての初期救急医療の充実に資するよう、豊中市や三師会ならびに関係機関と連携しながら検討します。 健康教育センター事業について、幅広い年齢層の参加を促進し、健康増進意識の向上に資するよう、内容の充実に努めます。 大阪国際空港メディカルクリニックについて、新たな管理医師のもとチーム力を高め、電子カルテへの移行を進めながら、引き続きかかりつけ医機能を発揮した診療に取り組めます。
収益の確保	大阪国際空港メディカルクリニックにおいては、「実施プラン」に基づく経営改善に取り組み、受診者数増を図りました。 休日等急病診療事業では、コロナ禍以降の傾向として、発熱患者の検査需要が続き、特に年末年始においては、インフルエンザ感染症の流行により患者が急増し想定を大幅に上回る患者数を受け入れました。	各事業において引き続き、受診者数増に取り組み、収益確保を図ります。 また、想定外の患者急増に対しても、受入れができるよう診療体制や動線の見直しについて検討するとともに、インバウンドによる外国人旅行客の急病対応などにも適切に対応できるよう多言語対応などの環境整備に取り組む、収益機会の確保に努めます。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか	診療所の各事業は、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の医療機関での歯科治療及び通院、健康診査の受診が困難な人のセーフティネットとして、より充実が求められる状況となっています。 また、これまで蓄積したノウハウを活用し、新興感染症への対応、三師会との協力、連携により、災害時の応急救護活動への対応等、行政からの要請にも迅速かつ適切に応じる必要からより重要性が増すと考えます。	診療所の各事業においては、今後も患者数の動向に応じた適切な診療体制の確保等、効果的に医療を提供します。 また、当法人の設立趣旨に則り、市民ニーズに合致した事業の企画調整にも取り組みます。
効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か	業務内容の精査を行い、適切な職員配置に努め、効率的かつ効果的な事業運営に取り組んでいます。豊中市保健所へ研修派遣した職員は、研修中に関わった市民、職員、事業者等を通じて、より幅広い視点を持ち、課題対応力の向上がみられました。 人事給与制度につきましても、経営環境を踏まえながら、物価上昇等に対応した給与水準の見直しを図りました。	引き続き、収益の確保、諸経費の節減に取り組み、より効率的な業務フローを検討し、資源や施設の利用に努めます。 当法人の規模に応じた組織体制や人事制度の構築をめざし、適正な人事給与水準についての精査を含め検討してまいります。
有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか	設立の背景から、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と有効に事業連携ができており、休日における初期救急医療機関としての役割はもとより、障害のある人、在宅でねたきり等の状態にある人の心身及び口腔の健康の維持及び向上に資する役割を果たしています。 三師会、市との連携により災害時における応急救護活動の拠点となることや新興感染症発生時における発熱外来等の機能を担うことで、地域のセーフティネットとしての役割を果たすことが想定され、ますます重要となっています。	三師会、市との連携を一層強化し地域医療の拠点の一つとして機能を高めてまいります。
総合評価	施設内に三師会の事務所があり、それぞれの意思決定の拠点となっていることから、行政と地域医療との連携に大きな役割を果たしています。事業実施については、自己の施設、独自のノウハウ及びネットワークを活かし、安定的な体制を維持するとともに効率的な高いサービス水準を維持しています。	集中豪雨等による自然災害が頻発し、また大規模災害や新たな感染症が発生することも想定される状況にあって、医療分野におけるセーフティネット機能に対する市民の期待は、今後も増大することが見込まれます。 一方で、人件費や物価の高騰、診療報酬のオンライン請求移行への対応、医療機関を狙ったサイバー攻撃等様々な外的要因に対応する必要もあり、経営基盤の一層の安定が必要となります。 このため、これらの課題に対処できるよう人材の育成に取り組むとともに、大阪国際空港メディカルクリニックや障害者（児）健診等事業の安定的な運営による収益確保に努めます。

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
団体の存在意義 (必要性) ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか	診療所の各事業は、豊中市の地域医療体制を確立し、地域住民の健康を維持する目的を踏まえ、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療または通院が困難な患者のセーフティネットとして、市民の健康を守るものとして重要です。 なお、有事の際には、緊急の応急救護所としての運用も期待され、重要な医療機関として位置付けられるものとなっております。	休日等急病診療事業において令和 6 年度の年末年始にインフルエンザが流行したこともあり、多くの患者を受け入れるなど豊中市の地域医療に寄与されています。 今後も公共性の高い事業を自主事業として運営しつつ、法人としての自立性を高めるため令和 5 年度に事業統合した空港メディカルクリニックについては実施プランに基づき令和 10 年度の黒字化をめざし、より充実した事業運営を引き続き行っていただきたいと思っています。
団体の活動領域 (効率性・有効性) ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか	施設内に三師会の事務所があることにより、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与するための連携拠点となっています。 また、医療と介護、福祉をつなぐ連携拠点としての機能も併せもって活動を行っており、自身のメリットを活かしながら事業を行っていると考えます。	今後も、三師会の事務局が施設内にあるメリットを活かし、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与する連携拠点として、医療と介護福祉をつなぐ連携拠点として、活動を進めてもらいたいと思います。 空港メディカルクリニックとの事業統合の効果を最大限に発揮できるよう、これまでの事業の安定的継続はもちろん、デジタル技術等も取り入れ、利用者の利便性を向上しながら更なる新規事業の開拓に向けた検討も引き続き行っていただきたいと思っています。
団体と市との関係性 (効率性・有効性) ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か	休日等急病診療、障害者（児）歯科診療事業、別館での「医療・介護・福祉の人材育成」事業など、公共性の高い事業を推進することにより地域住民の健康を守り、第 4 次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」の推進に寄与していると考えます。	引き続き、第 4 次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」に寄与できるように、休日等急病診療、障害者（児）歯科診療事業、障害者（児）健診事業を実施してもらいたいと思います。 あわせて空港メディカルクリニックの更なる充実を図ることで、空港を活かしたまちづくりにも貢献してもらいたいと考えています。
総合評価	豊中市と三師会の出資による法人として、各々と協力しながら地域住民の健康と福祉を増進するために重要な事業を行っていることについて評価します。	豊中市と三師会の出資による法人としてのメリットを活かし、今後も相互に連携を図りながら現行の事業の効率化に加え、他に何か自分たちにできることはないのかを考えて自主事業の開拓を進めてもらいたいと思います。 空港メディカルクリニックの早期黒字化のためにも、実施プランに基づいた事業推進が必要です。公益性が高い一方で収益性が高いとはいえない事業が多く、収入確保が課題ではありますが、収入の安定化が事業の拡大、ひいては地域医療推進に寄与することから収入の確保に努めてもらいたいと考えます。